

益田観光ガイド友の会とは？

益田市の歴史や文化に関心のある人が集まり、文化遺産などに関する知識を深める勉強会が益田市教育委員会生涯学習課（現：益田市教育委員会 社会教育課）の指導でスタートしました。当時、益田市には観光で訪れた方を案内するガイドの役割を担う団体がありませんでした。そのような現状の中、私たちが勉強会で得た知識が活かせるのではないかと思います、平成10年に「益田観光ガイド友の会」を設立しました。

益田観光ガイド友の会は、今年で設立22年目を迎え、現在会員数26名で活動しています。

益田観光ガイド友の会イチオシ事業

いこうじ まんぶくじ たいきあん たかつかきのもとじんじゃ ～医光寺・萬福寺・大喜庵・高津柿本神社でのガイド活動～

雪舟、柿本人麿といった益田が誇る2聖人の紹介を行っています。

◇イチオシ理由◇

素晴らしい庭、和歌の世界をガイドの解説で楽しむことができます！

～雪舟が造ったと伝わる庭～

雪舟が活躍した室町時代は、禅宗（座禅を組んで悟りを開くという教え）が盛んでした。庭造り、禅画（禅宗の教義や精神を表現した絵画）が修行の一環として行われており、庭造りに関しては池を造り、石を配置する池泉庭園が主流でした。

【医光寺】

池の形が鶴の形をしており、池の中には亀島という島が浮かんでいます。

「鶴は千年、亀は万年」とめでたいものをテーマに蓬萊山水の手法で造られており、雪舟を益田に招いた益田氏の繁栄を意味しています。

【萬福寺】

心字池を境にして、手前が現世、奥が仏様の世界の須弥山様式で造られています。

～柿本人麿の詠んだ和歌～

「鴨山の 磐根し枕ける 吾をかも 知らにと妹が 待ちつつあらむ」
意味：鴨山の磐根を枕にして、死を自覚し伏せている私なのに、何も知らぬ妻は、私のことを今か今かと待っていることであろう。

この和歌は、人麿が亡くなる直前に詠んだとされる一首です。
益田沖には昔、鴨島という島があり、その島で人麿が亡くなったという伝承があります。

◇この活動への思い◇

一人でも多くの市民の皆さんに、雪舟・柿本人麿への関心を深め、心の拠り所、誇りにしてほしいと思っています。

ガイド配置日は、
（一社）益田市観光協会
HPをご覧ください。

益田観光ガイド友の会「活動の4本柱」

益田観光ガイド友の会には、柱となる活動が4つあります。



①拠点ガイド

医光寺・萬福寺・大喜庵・高津柿本神社の4カ所に益田観光ガイド友の会の会員を配置し、訪れた方にガイドを実施しています。

②要請ガイド

市内はもちろん、県内外からの依頼に応じてガイドを行っています。

④イベント

依頼があれば、市内のお祭りなどのお手伝いを行っています。

③養成講座

現地に出向き、実際に体験しながら益田の歴史・文化について楽しく学べる講座となっています。

日程については、益田市観光交流課HPをご覧ください。

益田市の歴史・文化に興味がある方は、気軽にご参加ください。



養成講座は、知識を深めるだけでなく益田観光ガイド友の会の会員も参加するので、会の雰囲気を感じていただけます。

益田観光ガイド友の会の今後の目標！

観光ボランティアガイド養成講座を通じて、会員数を増やす。

市の観光活性化方針にあわせ、様々な活動を行う。

益田の歴史・文化を共に学び活動することで、仲間を増やす。

◇記事を見てくださった方へ◇

益田の歴史や文化に少しでも興味のある方、人と関わることが好きな方、私たちと一緒に活動しませんか。ぜひ、益田市観光交流課と当会で実施している「観光ボランティアガイド養成講座」に参加してみてください。

◇問い合わせ◇

〔観光ガイドの依頼〕
（一社）益田市観光協会 TEL0856-22-7120
〔養成講座について〕
益田市観光交流課 TEL0856-31-0331